

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 岡山大学

学部・研究科等名 医学部

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目：Ⅱ 教育内容

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名：学生や社会からの要請への対応

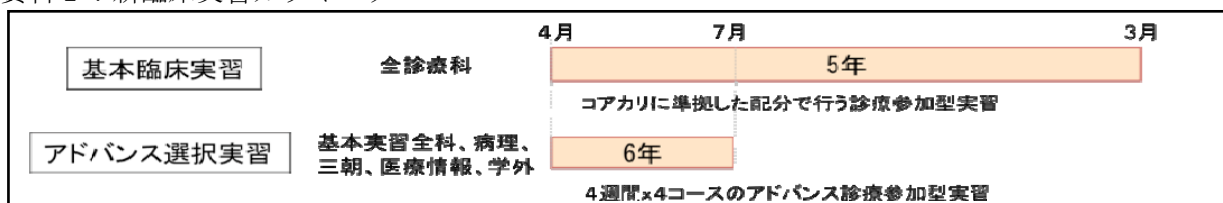
学生，社会からの要請で，高い臨床力修得を目指した教育課程の編成，評価の見直しを行い，地域枠導入，地域医療プログラムの新設を行った。

1) カリキュラム改定

(1) 臨床実習の全面改定：コアカリキュラムに準拠して臨床科の実習時間を配分し，5年次で全診療科の実習を行うようにした。6年次では1診療科あたり4週間(×4コース：学外実習1コース含む)の選択制アドバンス臨床実習を取入れた(資料1)。これにより，屋根瓦式教育体制を確立した。新5年次生を Student doctor に認定し，指導医の指導のもと医療行為を伴う臨床実習を積極的に取り入れることにした。これに伴う病院の支援体制を確立した。さらに地域枠導入に合わせ「医療政策と地域医療」講座を新設した。

(2) 生物学実習の新設：高校生物学未履修対策として，1年次の9月に全1年生に対して生物学実習(必須)を新設した。齧歯類の解剖実習，受精卵・胚観察など医学部に即した実習内容を行う。

資料1：新臨床実習カリキュラム



(出典：医学部医学科教務委員会資料)

2) 評価の見直し

臨床カリキュラムの改定に伴い臨床教育の評価法を改めた。各診療科の評価点は，実習評価を6割，6年次の各科筆記試験を4割の比率とし，実習評価の比率を上げた。6年次の9月には，アドバンス OSCE を行い，これを卒業要件に取り入れた。卒業試験の国家試験への連動を視野に，これまでの各診療科による長期を要した卒業試験を改め，3-4回にわけて1-2ヶ月間で終了する統一卒業試験を導入することにした。

3) 地域枠学生の受け入れと地域枠実習の導入

平成21年度は岡山県の支援により5名の地域枠学生を受け入れた(5名の定員増)。地域枠学生への新規教育として，1) 地域医療実習，2) 「医療政策と地域医療」講座の新設を行った。平成22年は岡山県からの増員2名，広島県から2名，兵庫県から2名，鳥取県から1名の7名が追加となり，合計12名の地域枠学生を受け入れることになり，現在の教育基盤を拡張していく。

地域枠入学学生5名に対して，1年次の夏休みに地域医療の中核病院(金田病院，金光病院)，診療所(哲西町診療所)に1-2週間滞在し，地域医療の実際を体験する「地域医療実習」を取り入れた。2月には，派遣先の病院長を招聘し，県担当職員，一般枠学生参加による第一回地域医療シンポジウムを開催した。本取り組みは，山陽新聞，NHK岡山で取り上げられた。

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 岡山大学

学部・研究科等名 医学部

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目：Ⅲ 教育方法

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名：授業形態の組合せと学習指導法の工夫

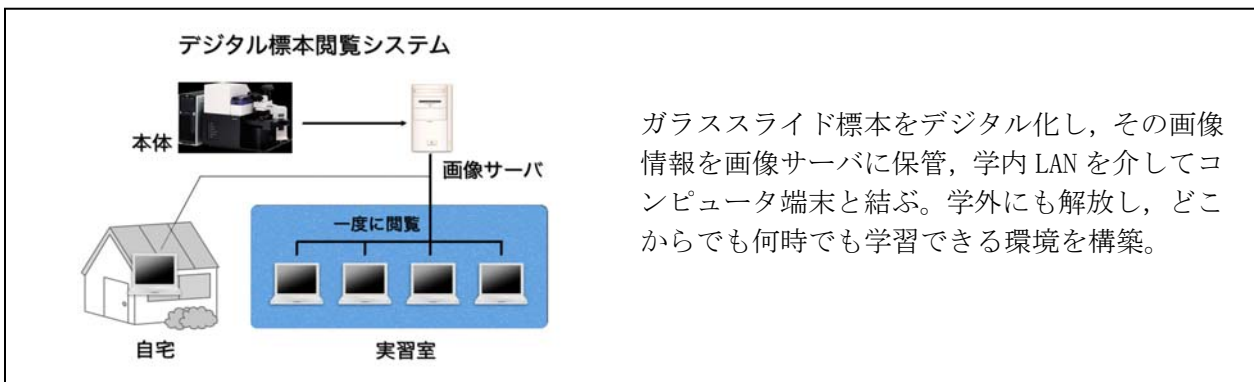
1) バーチャルスライドシステムの導入、運用開始

本学設備整備マスタープランに基づく平成 20 年度設備整備計画事業として「次世代組織標本デジタル管理・閲覧システム」の採択を受け、実習用顕微鏡 110 台、ディスカッション顕微鏡 1 台に加え、バーチャルスライド本体を導入した。実習ガラススライドのデジタル化を開始し、インターネットを介して自宅を含む実習室外での閲覧を順次開始した。

平成 21 年度は、岸本財団および医学部長裁量経費により、バーチャルスライド端末としてパソコン 120 台を購入し、ネットワークを構築した。実習ガラススライドの全デジタル化を終了した。次年度より、組織学、病理学の実習にあたり本格的運用を開始する。これにより、学生はいつでもどこでも組織学・病理学の組織実習が可能となり、効率的な学習ができる(資料 1)。

さらに、チュートリアル室全室に無線 LAN を導入し、研究論文や大学・講座情報などをオンラインで得るとともに、上記バーチャルスライドシステム、国家試験対策に有用なビデオ講座もオンライン閲覧となった。

資料 1：バーチャルスライドシステムの概要



(出典：医学部医学科教務委員会資料)

2) クリニカルクラークシップの推進

5, 6 年次の臨床実習でクリニカルクラークシップを推進するため、各科臨床実習評価表のなかに各診療科の実習到達目標を取り込んだ。この評価表をみることで、学生は何を学ぶのか、教員は何を教えるのかを確認することができる。(資料 2)

資料 2：臨床実習評価表の具体例(外科)

各科共通項目：1) 病歴聴取 2) 身体診察 3) 患者把握 4) 症例提示 5) コミュニケーション

診療科項目：1) 処置・検査 2) 術前プレゼン 3) 術前処置 4) 術中介助 4) 術後管理

(出典：医学部医学科教務委員会資料)

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 岡山大学

学部・研究科等名 医学部

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

質の向上度の事例名：事例2「医学科のFDワークショップの取組」（分析項目I）

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

教員（助教，講師，准教授，教授）に加えて，学部生（3年～6年），卒後研修医，大学院生から参加を募り，多視点からの教育改善に取り組んでいる。具体的には，より効率的な教育方法の紹介や導入，医学科教育の問題点の抽出と解決策の模索，医学教育への提言をまとめ，教育改革の参考にしている。

効果的な臨床実習の実施のため，毎月1回，各臨床系教育企画委員が集まり，第一線での具体的な取り組みの紹介と教育法のブラッシュアップを行っている。このFDの日常化により，教員の意識は大きく変化してきた。（資料1）

資料1：臨床系教育企画委員会の概要

毎月第2火曜日午後6時より，全臨床系教育企画委員および第一線指導教員が集まり，FDの日常化を実現している。

討議内容：教育現場の諸問題を具体的に討論し解決にあたる，新臨床カリキュラムの具体案審議，新カリキュラムの逐次評価，今後の効果的な教育法の導入，統一卒業試験問題のブラッシュアップ，など



臨床系教育企画委員会をリードした功績により，榎野研究科長より教育功労賞個人賞の表彰を受ける呼吸器外科山根助教



臨床系教育企画委員会は教育功労賞団体賞を受賞。代表で表彰を受ける片岡講師

（出典：医学部医学科資料）